

記念寄稿 55周年によせて



(協)全国共同店舗連盟 副理事長

谷内 忠弘

「組合員相互の連携 情報の共有化」

協同組合全国共同店舗連盟組織結成 55 周年・法人化 40 周年おめでとうございます。

諸先輩、先人の皆様のご努力により「記念式典」を迎えることができることを心より感謝いたします。

私の組合(京都の北部に位置する)加悦谷ショッピングセンター愛称「ウイル」も、本年 10 月でオープン 36 年を経過するに至りました。

過去、何度かリニューアルを実施し、地域の皆様に支えていただき今日に至っております。

私個人もオープン当初からのチャーターメンバーで、何度か連盟の研修事業に参加させていただき、多くのことを学び同志も沢山でき、自分自身の大きな財産になったと思っております。

現在、全国的に東京一極集中化が進み、多くの地方は少子高齢化が進んでおり、当地域も人口減少に歯止めがかからない環境下にあります。

その上、経営上の問題としては、建物の老朽化が進み、これの維持管理に毎年多額の費用がかさみ、又近年の電気料金の大幅な高騰など、今後の経営に大きな不安を残しているところでもあります。

当センターも地域のコミュニティの場として地域の皆様に活用していただき、何とかこの経営上の課題に国の支援をお願いするところでもあります。

今後も横の連携、情報の共有化を図り、連盟加入のメリットを十分活用できるよう、関係各機関のご支援ご協力をお願いするところでもあります。